

みやエコっ子通信では、環境にやさしい活動に積極的に取り組んでいる学校を紹介しています。
今回は、清原中央小学校と宮の原中学校の取組を取材させていただきました。

清原中央小学校

ボランティア団体である「ナルクの会」の方々の協力のもと、清原中央小学校では、足尾銅山などに植えるためのドングリを栽培しています。育苗ポットにドングリを横にして土をかぶせ、元気に育てほしいという気持ちを込めて水やりなどを行いました。苗になるまで1年間かけて毎日大切に育てています。

この活動で栃木県の緑化に貢献するほか、児童たちの環境保全に対する関心が深まりました。

ドングリの育生



宮の原中学校

宮の原中学校では、農作物（さつまいも、じゃがいも、大根）の植え付け・収穫を行いました。農業体験では野菜の栽培の大変さを、身をもって知ことができました。また、収穫したサツマイモで天ぷらを作りました。皮をむく時や切る時に多少の失敗がありましたが、美味しく作ることができました。

自分たちで収穫した農作物を食べる体験をとおして、農業及び食への理解や関心が深まり、また、豊かな心を育むことができました。

農作物の植え付け・収穫・調理

